

道路局の放射線対応について

1 マイクロスポット確認のための測定

(1) これまでの対応

- ・ 道路局では、市内の小学校、中学校、特別支援学校、幼稚園、保育所及び公園等、3,781 施設の周辺道路及び河川親水拠点等 115 施設について、マイクロスポットの有無を確認するため、本年 1 月から 3 月に放射線量の測定を行いました。
- ・ その結果、栄区のいたち川河川管理用通路で、地表から 1 cm での測定値で、 $0.59 \mu\text{Sv/h}$ が測定されたため、堆積物の除去を行いました。
- ・ そのほかには、目安値 ($0.59 \mu\text{Sv/h}$) 以上の箇所はありませんでした。

(2) 測定の継続

地域の安全と安心を守るために、道路上の土砂等がたまりやすい場所など、マイクロスポットになりうると考えられる場所の、放射線量を測定していきます。

ア 測定方法

各区の面積に応じ、平均 10 箇所程度を測定します。

また、本年 1 月から 3 月の測定箇所である、小学校等施設の周辺道路を再測定することにより、放射線量の変化の傾向を把握します。

- ・ 土砂等のたまりやすい場所 1 施設あたり数箇所
- ・ 施設の出入口付近の空間放射線量 1 出入口あたり 1 箇所

イ 測定時期

平成 24 年 9 月から始め、6 か月ごとに測定を実施します。

測定結果は、ホームページで公表します。

- ・ 対象施設 183 箇所（小学校 172 箇所、中学校 11 箇所）

2 親水拠点における河川水の核種分析等

子どもたちが川遊びをする親水拠点 54 箇所において、河川水の核種分析及び河川底質の放射線量の測定を行いました。

なお、その結果は、ホームページで公表しています。

(1) 河川水の核種分析

本年 5 月、6 月に河川水の採取・分析を行い、その結果、全て不検出で、準用した環境省指針の目安値（10^{ベクレル}/ℓ）を超えるものはありませんでした。

(2) 親水拠点の河川底質放射線量（水中放射線量）

測定値は、0.03～0.12 μ Sv/h で目安値（0.59 μ Sv/h）以上のものはありませんでした。

3 その他の測定

(1) 雨水調整池の放射線量の測定

- ・ 雨水調整池は、住宅地に降った雨水を一時貯留する施設で、常時施錠して管理しており、一般の方が立ち入ることはありません。
- ・ 作業員の安全確認のため、道路局所管の雨水調整池については、清掃・点検等作業の前に、放射線量を測定しています。
- ・ なお、民間施設等、本市所有以外の雨水調整池についても、作業前に放射線量を測定するよう、ホームページでお願いしています。

(2) 走行サーベイによる広域の放射線量測定

- ・ 国（文部科学省）は、空間放射線量率の分布状況を把握するため、車で走行しながら放射線量を測定しています。
- ・ 本年 3 月、本市と文部科学省及び日本原子力研究開発機構が共同で、3 台の車両を使用して、国道を含む市内幹線道路約 782km の測定を行いました。
- ・ 現在、国において、測定データの解析・評価を実施中であり、今後、文部科学省のホームページで公表される予定です。